

## 【水彩画クラブ27】卒業後6年目の活動 2018年6月

### ◇第118回活動:2018年6月10日(日) 午後1時から ヌエック207室

第6回美術展の開催要領を、6月4日に美松会27の仲間宛てメールで送った。出品申し込みの送り先担当を神代さんと黒澤さんにして送信していたが、黒澤さんの都合で齋藤(康)さんに頼んだ。

今日の活動は『塩沢湖畔の洋館-2』を描いていく2回目。

洋館正面から右側の木々を各自仕上げてきた。今日は洋館と館に掛かる黄葉、洋館奥の針葉樹などを描いていく。

#### 1. 各部分にマスキングを施す。

- ① 洋館の窓枠、切妻屋根が合わさる大棟、正面八の字のケラバ、右側の軒先などにマスキングを施していく。屋根上の白い煙突にもマスキングする。
- ② 洋館に掛かっている黄葉群の、白っぽく見える葉っぱや薄めの黄色い葉っぱに、葉の形状を意識してマスキングしていく。

余り沢山しないで、適当に・・・

- ③ 黄葉の枝木にもマスキングしておく。

#### 2. マスキングインクを乾かしてから、黄色い葉っぱ群を描いていく。

- ① 黄色の絵の具を2種類ほどパレットに絞り水溶きしておく。
- ② 淡く溶いた色を夫々小筆に取り、葉の形を意識しながら描くように塗っていく。
- ③ 塗ってきた黄色の葉っぱに、適当に葉の形を意識しながらマスキング筆で描くようにマスキングしていく。
- ④ 緑色をパレットに水溶きしておく。
  - a) 暗緑色、黒っぽい紫色、黄灰色、暗青色などを夫々水溶きしておく。
  - b) 暗緑色に、黒っぽい紫色を混色、黄灰色を混色、暗青色を混色して水溶きしておく。
- ⑤ 黄色い葉っぱのすき間に見える緑の葉や、陰にある暗い緑の葉に暗緑色や、b色の濁らせた緑色で葉っぱの形を描くように小筆で塗っていく。
- ⑥ 塗った色をドライヤーで十分に乾かしてから、陰の葉っぱなどを葉の形にダブルマスキングしていく。

#### 3. マスキングをドライヤーで乾かしてから、洋館の板壁を塗っていく。

- ① 板壁の赤茶色をつくる。
  - a) 赤茶色 朱色と焦げ茶色を混色し、水溶きしておく。
  - b) 黒っぽい赤茶色 朱色と黒っぽい紫色を混色し、水溶きしておく。
- ② 洋館板壁の板合わせ目線を焦げ茶色の水彩色鉛筆で、定規をあてて線を引いていく。二階建て正面は縦の線、右側一階の壁は横の線で描いた。
- ③ 壁部分に平筆で水を塗っていく。余分な水分はティッシュでサーッと拭き取る。
- ④ a色の赤茶色を細めの平筆で、二階建ては縦に筆を引きながら塗っていく。右側一階の板壁には、同じ赤茶色で横に筆を走らせて塗っていく。左端の下部で、葉の陰に見える板壁にも暗めの赤茶色を塗っていく。
- ⑤ b色の黒っぽい赤茶色を八の字のケラバ下際に陰のように塗っていく。黒っぽい紫色を少し多目に混ぜた暗い赤茶色で垂木の四角い面、軒先の線など陰を描いておく。
- ⑥ 窓枠中はガラス窓なので、暗めの赤茶色を塗った後に、暗青色などの青みを重ねて塗っておく。
- ⑦ 二階軒下から下へ見える雨樋を、黒っぽい赤茶色で描いておく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。次回までに湖面際までを仕上げてくる。

#### 4. 次回(6月25日(月))の活動予定

次回は湖を描いていく。

7月の活動では、美術展出品作品としての『自分の風景』を描いていく活動にしたい。各自「自分の風景」の題材を考えていきましょう。

### ◇第119回活動:2018年6月25日(月) 午後1時から ヌエック207室

腰痛がぶり返しお休みしていた関矢さん、1ヶ月の診察日に担当の医師から「腰骨が固まってくれば痛みが治まってくるので、辛抱してください」と言われ、もう少し休みますとのことでした。

今日の活動は『塩沢湖畔の洋館-2』の3回目で、洋館や木々が写る湖面を描いて仕上げていく。  
 前回10日の活動時に、洋館の白いデッキや手すりや白く写っているところ、岸の白い石、右側の白っぽく写っている箇所  
 にマスキングしてくる、との宿題だったが失念していたので最初にマスキングから始めた。

また、湖面下部に見える白い波頭を、課題写真を見ながらマスキング筆でススツと描いて施した。

1. 湖面に映る洋館の板壁色、木々の黄色や緑色、青色などを塗っていく。

① それぞれの色をバレットに水溶きしておく。

鮮黄色、普通の黄色      普通の緑色、暗緑色

鮮黄色に緑色を混色して黄緑色をつくる

洋館の板壁:焦げ茶色      深い青色:多目の暗青色に焦げ茶色を混色してつくる

② 湖面全体にハケで左から右へサーツと水を塗っていく。余分な水分はティッシュで拭き取っておく。

③ 大きめの平筆に黄色を含ませ、岸際の黄色く見えているサーツ黄色を塗っていく。

④ 淡い目に溶いた焦げ茶色を平筆に取り、板壁が写る茶色い部分に塗っていく。

⑤ 中央部の白いデッキ部分の右側に見える部分に、深い青色を平筆で淡い目に塗っていく。

⑥ 中央部から右側の湖面は明るい黄緑や緑色が写っているので、黄緑色や緑色を平筆で淡い目に塗っていく。

2. 塗った絵の具をドライヤーで十分に乾かしてから、湖面の波打を意識しながらマスキング筆で描くように施していく。

3. マスキングしたインクをドライヤーで乾かしてから、前項で塗った所に濃い目の同じ色をドライブラシ技法で塗っていき、直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。

① 洋館の板壁が写る箇所では、焦げ茶色に少し暗青色を混ぜて焦げ茶色にして、小筆に取り、波のように横に揺らしながら波を描いていき、直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。

② 中央部の白いデッキ部分右側の青い影に、深い青色を小筆で横に揺らしながら波を描いていき、直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。

③ 右側の明るい部分では、黄色っぽい緑色や、青っぽい緑色などを小筆に取り、横に揺らしながら波を描いていき、直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。

④ 洋館下の水際で生えている草部分には、濃い目の暗緑色を小筆に取り、岸際から下へサツサツと描いていく。  
 水際部分は黒っぽく見えているので、焦げ茶色に暗青色を混色した黒っぽい色で課題写真を見ながら小筆で塗っていく。

⑤ 置いてある白い石の間が黒く見えているところにも、同じ④の色を小筆で描いていく。

⑥ 右側木々の水際では、生えている草や木の影を、深緑色を小筆で下へサツサツと描いていく。

水際の黒っぽいところには、同じ④の色を小筆で描いていく。

⑦ 白い部分の左側に写る木と右端に見える木の影を、薄めの焦げ茶色を小筆に取り、波間に写っているように揺らしながら上から下にサーツ描いていく。直ぐに水筆で描いた線の両側をぼかしていく。

4. 塗り終わった絵の具をドライヤーで十分に乾かしてから、マスキングインクをキレイに剥して仕上げていく。

5. 次回(7月9日(月))の活動予定

次の22日(日)活動と2回に渡って、『自分の風景』を描いていく。

決めた『自分の風景』を、水張りした水彩紙にデッサンしてくること。

◇ 8月と9月の活動日と活動場所です。

月	日	時間	研修室	日	時間	研修室
8月	—	—	—	27日(月)	午後1時～5時	2階/207室
9月	10日(月)	午後1時～5時	2階/207室	24日(月)	午後1時～5時	2階/207室

8月は夏休みということで、例年通り活動は1回のみです